

内航海運の役割やリアルな船員事情を知ることができました！

～国立口之津海上技術学校生徒を対象に内航講座をWeb 開催～

九州地区船員対策連絡協議会は2月5日、国立口之津海上技術学校の2年生21名を対象に、内航海運業への就職促進を目的とした出前講座を開催しました。

・本協議会では、高齢化が著しい内航船員の確保・育成対策として、水産系高校、海上技術学校等での出前講座や一般高校、中学校への学校訪問による海運業のPRの実施及び内航海運事業者や船員教育機関関係者等との船員確保・育成対策の協議などの事業を展開しています。

※九州地区船員対策連絡協議会：九州地方海運組合連合会、全国内航タンカー海運組合西部支部及び九州運輸局で構成

・今回の講座は新型コロナウイルス感染防止の観点から、協議会メンバーである内航海運事業者社長と九州運輸局の職員が講師となって、Web形式で実施しました。

九州運輸局からは、「内航海運」の役割・重要性や内航船員に関わる法令、「船員」に必要な資格等の基礎知識、雇用情勢等の講義、さらに、熊本県の(株)雄和海運 浦山社長からは実際の内航船での仕事や船内生活の紹介、内航海運のプロになるために学校で学んでほしいこと等について講義するなど、よりリアルな内航海運業界のPRに努めました。

・特に、浦山社長の講義では、事前に生徒から集めた質問にも答えつつ、講義を工夫して進めるなど、参加した生徒のアンケートでは、「実際の社長の話を聞いて、どのような人材が求められているのかなど大変参考になった。」「船内でのより具体的な職務や休暇のサイクルが理解できた。」「乗りたい船種が明確に決まっていなかったが今回の講座を参考に決めたい。」等の意見が寄せられ、生徒達の内航海運を目指す意欲が強く感じられました。

・今後もこの取組みを継続し、内航海運業界の船員不足の解消に繋がるよう当協議会としても積極的に参画していくこととしています。

◇実施概要

主催：九州地区船員対策連絡協議会（事務局；九州地方海運組合連合会）

内容：「内航海運について」（講師；九州運輸局 海事振興部 貨物課長）

「船員について」（講師；九州運輸局 海事振興部 船員労政課長）

「内航海運とは 船員の仕事とは」（講師；(株)雄和海運 浦山社長）

☆内航講座の様子☆

【口之津海上技術学校】



九州運輸局の講義



(株)雄和海運の講義

【九州運輸局】

